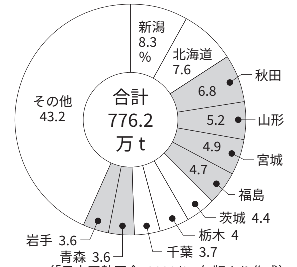
東北地方（農業・水産業）

ポイント　農業・水産業

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

資料1　日本の米生産高における都道府県別割合



（「日本国勢図会」2020/21 年版より作成）

① 農業

東北地方は日本の米の生産量の約4分の1を占める

特に日本海側は豊富な水と平野がある **水田単作** 地帯

日本海側	秋田平野・庄内平野（山形県）など
太平洋側	仙台平野（宮城県）など

青森県ではごぼう・やまいも・だいこん・にんじんなど根菜の栽培がさかん

東北地方北部の太平洋側では初夏から夏にかけて

やませ による **冷害** が起こることもある

資料2　やませによって発生した霧（岩手県）

食生活の変化で米が余るようになったため

1970年代には **減反政策** と呼ばれる生産調整を始める

（2018年産から廃止）

東北地方では休耕や大豆・そばへの **転作** だけでなく

独自の **銘柄米** の開発が進む

【銘柄米の例】「あきたこまち」（秋田県），「はえぬき」（山形県），「ひとめぼれ」（宮城県）など

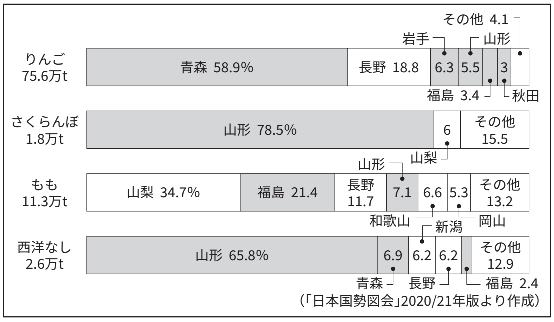
東北地方の盆地・傾斜地・扇状地などでは

日当たりが良く水はけが良いため **果樹栽培** がさかん

りんご	**津軽** 平野（ **青森** 県）など
さくらんぼ（おうとう）	**山形** 盆地（ **山形** 県）など
もも	福島盆地（福島県）など

山形県は西洋なしも全国第1位

資料3 果物の都道府県生産量



② 農家のさまざまな取り組み

貿易の自由化や農業のグローバル化への対応が必要

↓

東北地方の農作物を地域ブランドにする

地域活性化により過疎(かそ)などの課題の解決を目指す

観光農園を増やし観光客を集める

③ 水産業

三陸海岸(さんりくかいがん)：青森県南部から宮城県北部までの海岸で南部には複雑に入り組んだ**リアス海岸**が見られる

潮目(しおめ)（潮境(しおざかい)）：三陸海岸の沖合などで見られる暖流の日本海流（黒潮）と寒流の千島海流（親潮）が出合うところ
プランクトンが多く好漁場となっている

八戸(はちのへ)港（青森県）・気仙沼(けせんぬま)港・石巻港（宮城県）などの漁港の周辺には水産食品加工工場がある

リアス海岸は複雑に入り組んでおり波がおだやかなため
わかめ・こんぶ・かきなどの養殖(ようしょく)がさかん

青森県の陸奥(むつ)湾では**ほたて**貝の養殖がさかん
下北(しもきた)半島北端の大間(おおま)町の一本釣り（「大間のマグロ」）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 米が余るようになったため採用された米の生産量を計画的に減らす政策は何か。 ＿＿＿＿ **減反政策**

(2) 東北地方の日本海側に見られる，米のみを栽培する地域を何というか。 ＿＿＿＿ **水田単作地帯**

(3) 東北地方のリアス海岸でさかんな，いけすなどでわかめ・こんぶ・かきなどを育てて増やす漁業を何というか。 ＿＿＿＿ **養殖**

(4) 山形県が70%以上を生産する果樹は何か。 ＿＿＿＿ **さくらんぼ(おうとう)**

(5) 青森県の陸奥湾で養殖がさかんなのは何か。 ＿＿＿＿ **ほたて**